

## < 第1回 成果文書 >

インフラを賢く使うまちづくりのための東環利活用会議活動指針(平成28年7月)

- 1 東海環状自動車道の利活用に関する取り組み**  
広域道路ネットワークの利活用状況や東海環状自動車道西回りが地域経済に与える効果を把握し、情報共有を図ることで、的確なまちづくり計画策定や更なる民間投資に繋がります。
- 2 インフラ整備のストック効果に関する取り組み**  
アクセス道路や地域開発計画に関して情報共有を図り、更なる民間投資の需要を喚起するとともに、インフラ整備を見据えたストック効果を継続して把握し、同種の新規事業に期待される効果の予測に繋がります。
- 3 各種広報啓発活動等の実施**  
インフラ整備のストック効果の情報提供活動を推進し、新たな地域開発に対する理解の醸成や、まちづくりに関する取り組みに対して容易に情報が検索できる仕組みを整備し、来訪しやすい環境を整えることで地域の活性化に繋がります。
- 4 工業、商業、農業、観光等の幅広い「生の声」の把握**  
企業等の「生の声」を把握し、適切に対応することで企業等の生産性向上に繋がるとともに、関係機関が連携・協力し、まちづくりの課題解決に取り組み、より良い地域を目指します。

## < 活動報告 (各種取り組み) >

### ヒアリング調査の実施

20業種117社  
(平成30年11月30日現在)

### アンケート調査の実施

延べ1,582名  
(平成30年3月現在)

### ストック効果資料の作成

ヒアリング結果を踏まえ作成



### まちづくり未来マップの作成

定期的に更新予定  
定期的にパンフレットにとりまとめ予定



### パネル展の開催

延べ98箇所  
(平成30年3月現在)  
イベント、市役所ロビー等で開催  
引き続きパネルリレーを開催中



### ポータルサイトの作成

H29.3ポータルサイトを開設



### 会議等において情報交換

第1回会議 (H28/7/14)  
第2回会議 (H29/9/14)  
第3回会議 (H30/12/21)

約100名が参加



# 第3回 東海環状西回り 利活用促進会議

## < 議事次第 >

- 開会挨拶  
三重県 県土整備部長  
いなべ市長
- 開催地挨拶
- 活動報告
- 事業進捗状況について
- 意見発表  
(1)近藤 行弘 三重県東員町建設部長  
(2)太田 宣男 岐阜県垂井町産業課長  
(3)斉藤 司 三重県菟野町都市整備課長
- 話題提供  
「企業ヒアリング分析結果を踏まえたまちづくりの促進」  
加藤 義人 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)執行役員
- 意見交換
- 閉会挨拶  
岐阜県 県土整備部長

◇日時：平成30年12月21日(金) 13:30~15:00  
◇場所：いなべ市さくらホール

### 【第3回東海環状西回り利活用促進会議 参加機関】

代表理事：岐阜県、三重県

理事：  
(17市16町)大垣市、多治見市、関市、美濃市、羽島市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、本巣市、海津市、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町、坂祝町、富加町、八百津町、御嵩町、四日市市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、東員町、菟野町、朝日町

(9経済団体)大垣商工会議所、羽島商工会議所、桑名商工会議所、鈴鹿商工会議所、亀山商工会議所、いなべ市商工会、東員町商工会、菟野町商工会、朝明商工会

オブザーバー：国土交通省中部地方整備局、中日本高速道路(株)名古屋支社

協力機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)



# 第3回 東海環状西回り利活用促進会議 開催概要

## <開会挨拶> 三重県県土整備部長



渡辺 克己

- ◇本会議は東海環状自動車道の効果を共有するために平成28年度に発足しました。本日は利活用に関する意見発表と話題提供、意見交換を行い、さらなる利活用促進につなげたいと考えています。
- ◇本会議の取組に加えて地域の声を届ける活動により、北勢から養老間の開通見通しの早期公表と、1日も早く全線開通することで、ストック効果の最大化に繋げてきたいと考えており、当会議が地域の自治体・経済団体が連携する場にしていきたいと思います。

## <開催地挨拶> 三重県いなべ市長



日沖 靖

- ◇開通見通しができると、企業の投資も増えますし、自動車産業を中心にフル生産体制にもなります。しかし、県境区間の見通しが未発表であり、早い段階で見通しを出して、東回りでも実績済みの産業や福祉・医療へのストック効果の発現を期待します。
- ◇バックアップ機能も含めた東海環状自動車道の効果をアピールできる機会とし、世間に認めていただけるような発信をする会議になればよいと考えています。

## <閉会挨拶> 岐阜県県土整備部長



宗宮 裕雄

- ◇沿線市町では西回りの整備を地域振興につなげるため、企業誘致や交流人口拡大に向けた取り組みを一段と進められていると感じました。また、意見交換の結果が、今後の持続的なまちづくりの支援に繋がればと考えています。
- ◇県境区間は開通見通しが示されていませんが、皆で丸となって東海環状自動車道の必要性や期待される効果を発信し、早期全線開通に向けた機運を盛り上げていきたいと考えています。

## <意見発表>

### 三重県東員町 建設部長 近藤 行弘 氏



- ◇町内に立地した企業は、東員ICの開通を視野に東員町に立地したと聞き及んでいます。
- ◇当町の観光資源として猪名部神社の大社祭があり、東海環状自動車道を利用して来ていただきたいと考えています。また、東海環状自動車道の利活用として、遠距離利用だけでなく、近距離利用による利用促進も考えられます。

### 岐阜県垂井町 産業課長 太田 宣男 氏



- ◇市街化調整区域、農振農用地区域内である町南部の栗原地区では、「不換地みあいの創設換地II」により工場用地を創設、地区計画を策定して企業誘致を進めました。
- ◇また、町北部の府中離山工業団地においても同様に土地利用が難しい中、地区計画を策定し長期にわたる協議を経て、現在、開発を進めているところです。今後、東海環状自動車道や名神高速道路のICへのアクセス性の良さを活かした企業誘致を進めていきます。

### 三重県菟野町 都市整備課長 齊藤 司 氏



- ◇新名神高速道路の菟野IC西側に17haの工業系用地、東側に30haの住居系用地を組合事業として進め、企業誘致などストック効果を最大限引き出していきたいと考えています。
- ◇県境区間の開通時期は未定であり、北勢の立地企業の生産性向上の観点から早期に実現し、岐阜県と三重県の交流活発化を期待し、事業推進のために活動していきたいと考えています。

## <話題提供> 『企業ヒアリング分析結果を踏まえたまちづくりの促進』

### 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 執行役員 加藤 義人 氏



- ◇2005年に東回りが開通し、沿線地域は工業集積地に進化しました。他方、2027年のリニア中央新幹線開通により、名古屋の2時間圏の交流人口は国内最大となります。高速道路ネットワークができること一に効果が届きやすくなることから、リニア駅と高速道路をいかに結節するかが重要になります。
- ◇これまでの企業ヒアリング結果をみると、新たな企業立地については、企業は安くて便利な土地に関心をもっていることや、すでに立地している企業の生産性向上が確認できました。また、観光では案内のしやすさなど、結果として観光客が来るようになりました。
- ◇社会資本を活かした地域活性化シナリオとしては、まずは、社会資本高度化に向けて民間借入資産を増やす受け皿が必要になります。そうすることで、企業収益が増え、雇用が生まれ、定住人口・税収増加につながります。
- ◇新たな企業誘致を進めたい場合は、立地条件やメリットとあわせて解決すべき課題も明示するなど、当地のインフラ・メーソンのパッケージを整備して情報発信していくことが大事です。また、リニア時代、名古屋の発展ポテンシャルを活かし、道路・鉄道・空港・港湾の複合的活用によるMICEや周遊観光などの議論が必要です。さらに、文化、子育て、医療など都市魅力の向上に向け、いかに差別化して特徴的に見せるかが重要と考えます。

## <意見交換>

### 岐阜県大野町 産業建設部長 鶴飼 信裕 氏

- ◇(仮称)大野・神戸IC周辺を商業工業複合拠点地区と位置付け、それぞれの機能が調和した土地利用を積極的に推進する町総合計画等を策定しました。現在はIC周辺のまちづくりについて、庁内横断的な検討会を設置し、土地区画整理事業等による開発についての検討や農林漁業との調整を行っています。

### 三重県桑名商工会議所 専務理事 森下 充英 氏

- ◇多度町の工業団地から東員ICへのアクセス道路の整備を要請しています。東海環状の整備効果を最大限享受できる取り組みにもっていくためにはどうすればよいのでしょうか。
- 【加藤氏回答】 さらに企業誘致を有利に働かせるためには、桑名市民のQOL(生活の質)をさらに一段高くするために何が足りないのかを産業界と議論していく必要があります。

### 三重県四日市市 都市整備部長 稲垣 圭二 氏

- ◇今年度から大型外国クルーズ船が5回入港し、これだけでも1万人以上の方が四日市港に来ており、西回りができると観光面で岐阜方面のクルーズ船のオプションツアーもできると期待しています。産業面でも、高速道路と四日市港を結ぶ臨港道路が直結し、四日市港が一層近くなることを船会社にPRを行っています。

### 岐阜県本巣市 産業建設部建設課長兼東海環状自動車道・幹線道路推進室長 高木 孝人 氏

- ◇市内6カ所を工業集積地として選定し、オーダーメイド方式による企業誘致を進めるとともに、(仮称)本巣PAと連携した都市公園を計画し、2022年度供用を目指して取り組んでいます。東海環状を利活用した取り組みにおいて、潜在的なニーズの掘り起こしや需要予測の方法、対象エリアの考え方等についてご教示いただきたい。
- 【加藤氏回答】 一つは、民間が交流分野の収益を図ろうとするときは交通量などのデータの情報公開が大事であり、それが民間誘発のきっかけになると考えています。

### 国土交通省中部地方整備局道路部長 池口 正晃 氏

- ◇改めて東海環状自動車道は大きな期待を持っていることを感じました。当地は、リニアがくる地域であり、東海環状自動車道と連携して時間短縮を図っていくことで、企業の方に魅力ある地域になっていくと感じました。

### 中日本高速道路株式会社建設事業部長 忽那 幸浩 氏

- ◇本日の利活用の取組みなどを聞いて、改めて利活用の多様性やストック効果が発揮されていることを確認でき、また、皆様の期待を感じました。高速道路の開通により、物流の効率化や地域の活性化に貢献できるものと考えています。